

# コンクリート構造物のうき・剥離を検出可能な非破壊検査技術 評価指標及び試験方法

別紙-1

評価項目				評価指標		検出する 損傷の種類	要求水準	性能評価	試験方法・条件
精度	A-1	損傷の検出精度	損傷(コンクリートのうき・剥離)を正しく検出できる	検出率	%	うき・剥離	100%	値が大きい方が高性能	【試験方法】 ・試験の対象橋梁のうち、当該技術の適用範囲を事前に設定 ・対象範囲について応募技術による非破壊検査を実施し、損傷と検出した箇所を記録し提出。
効率性	B-2	損傷的中率	損傷箇所を効率的に検出できる	ヒット率	%	うき・剥離	-	値が大きい方が高性能	・従来方法(打音検査)による点検で確認された損傷箇所の位置と比較し、精度及び効率性を評価する。

※1:従来方法は、橋梁における第三者被害予防措置要領(平成28年12月)に基づく、「打音検査」。

※2:各技術が指定する条件(適用条件、資格など)がある等の場合は、その条件を比較表に明示する。

※3:経済性の観点での参考値として、各技術毎のコスト(計測費用(直接人件費)、計測費用(直接経費)、解析費用(直接人件費))を比較表に併記する。